

平成30年度ダイオキシン類の調査結果

ダイオキシン類は、調査地点ごとに、調査結果(年平均値)と環境基準とを比較して評価することとなっておりますが、次の表のとおり環境基準を下回っています。

引き続き、ダイオキシン類の発生量を減らすため、次のことを心がけましょう。

- ・ごみを減らし、再利用や分別・リサイクルを徹底する。
- ・使い捨ての製品を避ける。
- ・使えるものはできるだけ長く使う。

なお、平成 14 年度からは大気中のダイオキシン類調査については、区、都ともに、大気の採取期間を 1 日 24 時間から 7 日間に延長して行っています。

また、大気中のダイオキシン類濃度は近年横ばいまたは緩やかな減少傾向となっているため、平成 28 年度より、区の調査は年 2 回（夏季および冬季）としています。

(単位 : pg-TEQ/m³)

調査地点	調査主体	調査回数	調査結果(年平均値)	環境基準
水元図書館 (東水元 1-7-3)	区	2 回	0.044	0.6 以下
葛飾区役所 (立石 5-13-1)	区	2 回	0.033	0.6 以下
鎌倉図書館 (鎌倉 2-4-5)	都	4 回	0.030	0.6 以下

(内訳)

(単位 : pg-TEQ/m³)

調査地点	5/16~5/23	8/22~8/29	11/14~11/21	2/8~2/15
水元図書館	—	0.019	—	0.069
葛飾区役所	—	0.018	—	0.048
鎌倉図書館	0.022	0.012	0.048	0.037

(注 1) 1pg(1ピコグラム)は 1 兆分の 1 グラム。1.24 グラムの角砂糖を東京ドーム(124 万m³)一杯分の水に溶かしてつくった砂糖水 1cc(1 ミリリットル)の中に溶けている砂糖の重さに相当します。

(注 2) TEQ(毒性等量)とは、検出されたダイオキシン類の量を一番毒性の強いダイオキシンの量に換算した値です。